

# 款 3 民生費

## 項 1 社会福祉費

### 目 1 社会福祉総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,994,852,000 円	3,957,461,811 円		37,390,189 円

〔一般職給〕	6 4 人	536,437,268 円	〔 国庫支出金 72,034,000 円 県支出金 433,000 円 その他特財 5,739,000 円 〕
〔再任用職給〕	1 人	3,080,147 円	
〔嘱託職給〕	1 1 人	34,982,495 円	

#### (保健福祉課)

目的	各種医療費の給付助成				
指標	受給者証交付人数等	目標	24,284 人	実績	22,871 人 (16 年度 23,595 人)
説明	各種医療費助成により経済的支援を行いました。乳幼児医療費助成は、所得制限額が引上げられたものの、乳幼児の対象人口の減少もあって受給資格者数は 291 人減少となりました。心身障害者、一人親家庭等医療費助成は、所得制限額の引下げもあって、心身障害者医療費助成については受給資格者数は 138 人減少しました。一人親家庭等については対象者が増加し受給資格者は 47 人の増となりました。老人医療費助成は、平成 15 年 9 月の制度廃止後 2 年間の経過措置により助成しておりましたが 17 年 8 月末で終了しました。不妊治療費助成は、210 人に対して助成を行いました。今後も、これらの医療費の助成については、広報などにより制度の周知に努めます。				

(受給資格者数は年度末)

〔乳幼児医療費助成事業〕	279,269,604 円	(県支出金 136,828,000 円)
受給資格者数	10,350 人	(16 年度 10,641 人)
〔心身障害者医療費助成事業〕	593,252,217 円	(県支出金 271,239,000 円)
受給資格者数	6,640 人	(16 年度 6,778 人)
〔一人親家庭等医療費助成事業〕	121,408,590 円	(県支出金 64,091,000 円)
受給資格者数	5,671 人	(16 年度 5,624 人)
〔老人医療費助成事業〕	2,252,957 円	(県支出金 3,375,000 円)
受給資格者数	(17 年 8 月末) 59 人	(16 年度 357 人)
〔福祉医療証明書料経費〕	46,520,200 円	(県支出金 23,104,000 円)
〔不妊治療費〕	16,552,000 円	
受給者数	210 人	(16 年度 195 人)

目的	市社会福祉協議会活動支援				
指標	ボランティアコーディネーター人数	目標	1 8 0 人	実績	2 1 1 人 (16 年度 1 6 6 人)
説明	地域福祉の推進を図るため、市社会福祉協議会ではボランティア、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会連合会、在宅介護支援センターなどと連携を図りながら、地域の福祉力を高めるための活動を行っており、その活動を支援しました。今後もボランティア活動等が活発に展開されるよう市社会福祉協議会と連携を図りながら地域の福祉力の向上に努めます。				

〔社会福祉協議会運営費補助金〕	131,277,941 円
・社会福祉協議会運営費	113,549,911 円

・市民啓発事業費	1,714,000 円
・ふれあいのまちづくり事業費	8,294,030 円
・ボランティアのまちづくり事業費	2,236,000 円
・振興基金補填事業費	5,484,000 円
〔権利擁護事業費補助金〕	332,500 円
〔社会福祉事業振興基金交付金〕	116,000 円 (その他特財 35,047 円)
〔民生委員児童委員協議会連合会補助金〕	25,848,080 円
活動者数	566 人 (16 年度 566 人)
〔医師会等との連携〕	
・四日市医師会補助金	14,239,000 円
・四日市歯科医師会補助金	4,507,000 円
・四日市薬剤師会補助金	907,000 円

目的	シルバー人材センター活動支援				
指標	会員の就業率	目標	83%	実績	82.5% (16 年度 81.7%)
説明	<p>シルバー人材センターでは、会員の就業率の向上を図るため、会員の企業訪問活動によるセンター事業の宣伝・普及啓発などにより、就業機会の確保に努めました。平成 17 年度は、事業費の伸びが前年比 10.5% となり、就業率は 0.8% 増えて 82.5% となりました。</p> <p>また、近鉄四日市駅周辺や南部丘陵公園での清掃などのボランティア活動に、年間を通じて約 1,200 人の会員が参加しました。今後も、シルバー人材センターをとおして高齢者の社会参加や生きがい対策を支援していきます。</p>				

〔シルバー人材センター運営費補助金〕	17,600,000 円
〔全国シルバー人材センター協会等負担金〕	100,000 円
〔保護司会補助金〕	1,590,000 円
活動者数	110 人 (16 年度 113 人)
〔更生保護女性の会補助金〕	108,000 円
活動者数	1,891 人 (16 年度 1,917 人)
〔遺族対策費補助金〕	1,811,000 円
会員数	2,150 人 (16 年度 1,925 人)
〔四日市傷痍軍人会補助金〕	742,000 円
会員数	174 人 (16 年度 184 人)
〔三重県原爆被災者の会補助金〕	103,000 円
会員数	102 人 (16 年度 105 人)

目的	各種手当等の支給				
指標	受給者数等	目標	4,610 人	実績	4,635 人 (16 年度 4,616 人)
説明	<p>各種手当を支給することにより経済的な支援を行いました。今後も、障害者手帳の交付時や転入時の案内を行うなど、これらの各種手当の周知に努めます。</p>				

(受給資格者数は年度末)

〔特別障害者手当等の支給〕	
・特別障害者手当等運営対策経費	238,860 円
・特別障害者手当等扶助費	123,385,470 円 (国庫支出金 92,418,007 円)
受給者数	500 人 (16 年度 509 人)
〔重症心身障害者手当の支給〕	
・重症心身障害者手当	97,802,000 円
受給者数	4,083 人 (16 年度 4,051 人)
〔在日外国人福祉給付金の支給〕	
・在日外国人福祉給付金	3,055,000 円
受給者数	52 人 (16 年度 56 人)

**その他経費**

〔社会福祉一般事業費〕	26,748,980 円	
〔県土地開発公社所有地買戻し事業費〕	82,720,040 円	
〔保健福祉総合システム運営費〕	12,300,458 円	
〔社会福祉事業振興基金積立金〕	8,174,323 円	(その他特財 8,174,323 円)
民間社会福祉事業		
(昭和51年3月設置 本年度末現在高 民間社会福祉事業積立金 392,332,447 円)		
〔老人保健医療特別会計繰出金〕	1,595,459,000 円	

**(障害福祉課)**

目的	雇用・就労の促進				
指標	市内の授産施設・小規模作業所数 (身体・知的・精神)	目標	20 施設	実績	20 施設 (16年度 20 施設)
説明	一般企業への就労を促進し、職場への定着を支援する通勤寮や、養護学校卒業後の就労の場、日中活動の場である小規模作業所や通所授産施設等を確保するため、引き続き、社会福祉法人に対し建設費補助(債務負担行為17年度分)を行いました。今後も、既存の小規模作業所の法内施設化等、施設の整備に努めます。				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

- ・知的障害者通所授産施設建設費補助金 2,055,710 円

施設名	実施額	備考
かすみヶ浦ブルーミングハウス	984,500	債務負担行為限度額のうち本年度分
わかたけ萩の里	1,071,210	"

- ・知的障害者通勤寮建設費補助金 920,000 円

施設名	実施額	備考
通勤寮ブルーミング	920,000	債務負担行為限度額のうち本年度分

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内のデイサービス実施施設数 (身体・知的)	目標	31 施設	実績	34 施設 (16年度 30 施設)
説明	視覚障害者の活動拠点である視覚障害者福祉センターの運営費補助を行うとともに、重度障害者の日中活動の場、社会参加の場である通所更生施設やデイサービス施設の建設費補助(債務負担行為17年度分)を引き続き行い、施設の整備、充実に努めました。				

〔社会福祉協議会運営費補助金〕

- ・視覚障害者福祉センター運営費 2,088,215 円

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

- ・知的障害者更生施設建設費補助金 975,947 円

施設名	実施額	備考
サクラノ園	975,947	債務負担行為限度額のうち本年度分

- ・知的障害者デイサービス施設建設費補助金 983,400 円

施設名	実施額	備考
清和デイサービスセンター	983,400	債務負担行為限度額のうち本年度分

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設数 (身体・知的・精神)	目標	6 施設	実績	6 施設 (16年度 6 施設)
説明	知的障害者入所更生施設や身体障害者療護施設の建設費、老朽化施設の大規模改修費の補助(債務負担行為17年度分)を引き続き行い、生活の場の整備や施設の生活環境改善を支援しました。今後も施設の老朽化にともなう改築等を支援します。				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

・身体障害者療護施設建設費補助金 1,421,684 円

施設名	実施額	備考
エビノ園（大規模改修）	1,421,684	債務負担行為限度額のうち本年度分

・知的障害者更生施設建設費補助金 6,044,847 円

施設名	実施額	備考
清和苑	2,750,000	債務負担行為限度額のうち本年度分
聖母の家（増築分）	907,900	〃
垂坂山ブルーミングハウス	2,386,947	〃

目的	支援費制度の推進				
指標	居宅生活支援・施設支援サービス支給決定者数	目標	1,250 人	実績	1,297 人 (16 年度 1,236 人)
説明	支援費制度の定着とともに、着実にサービス利用量は伸びています。平成 18 年 4 月から、段階的に障害者自立支援法による新事業・施設体系に移行していきますので、障害福祉サービスの周知に努め、必要なサービスの利用につなげます。				

〔支援費制度事務費〕 122,925 円

目的	障害者施策の総合的・計画的推進				
指標	会議開催回数（障害者施策推進協議会、精神障害者連絡調整会議）	目標	6 回	実績	3 回 (16 年度 4 回)
説明	第 2 次四日市市障害者計画に基づき障害者施策を推進するため、啓発、保健医療、教育、生活環境、雇用就労、生活支援等の関係機関や障害者団体等による障害者施策推進協議会を開催しました。今後も障害者施策の進捗状況を把握し、障害者の地域生活支援を推進します。				

〔四日市市障害者施策推進協議会経費〕 70,300 円

委員報償金、手話通訳謝礼

〔障害者サービス調整事業費〕 28,720 円

### その他経費

〔負担金〕保健師 2 人 市町村保健師協議会会費、全国精神保健福祉業務研修会参加費 21,512 円

### （介護・高齢福祉課）

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕 112,711,391 円

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設（老人保健施設）、デイサービスセンター、軽費老人ホーム等の建設費補助を債務負担行為に基づき行いました。

・特別養護老人ホーム建設費補助金 42,716,698 円

施設名	実施額	備考
小山田特別養護老人ホーム（増築）	2,694,700	債務負担行為限度額のうち本年度分
特別養護老人ホームヴィラ四日市	3,224,894	〃
特別養護老人ホーム陽光苑（増築）	1,549,947	〃
特別養護老人ホーム英水苑	4,145,157	〃
特別養護老人ホームよっかいち諧朋苑	4,814,000	〃
特別養護老人ホームヴィラ四日市（増築）	1,768,000	〃
小山田特別養護老人ホーム（大規模隣）	971,000	〃
特別養護老人ホーム南部陽光苑	5,293,000	〃

介護総合センターかんざき	5,195,000	〃
小山田特別養護老人ホーム(大部屋解消・シヨート増築)	2,133,000	〃
特別養護老人ホーム英水苑(増築)	928,000	〃
特別養護老人ホームうねめの里	10,000,000	〃

・老人デイサービス施設建設費補助金 17,081,000 円

施設名	実施額	備考
英水苑デイサービスセンター	941,000	債務負担行為限度額のうち本年度分
四郷デイサービスセンター	1,091,000	〃
Y M C A デイサービスセンター	1,276,000	〃
よっかいち譜朋苑デイサービスセンター	994,000	〃
みなとデイサービスセンター	1,148,000	〃
富田浜デイサービスセンター	969,000	〃
南部陽光苑デイサービスセンター	961,000	〃
ハピネスやさとデイサービスセンター	941,000	〃
川島デイサービスセンター	951,000	〃
うねめの里デイサービスセンター	972,000	〃
くぬぎの木デイサービスセンター	979,000	〃
日永英水苑デイサービスセンター	988,000	〃
かんざきデイサービスセンター	934,000	〃
富洲原デイサービスセンター	994,000	〃
聖十字保々デイサービスセンター	1,025,000	〃
しおはまデイサービスセンター	939,000	〃
天力須賀デイサービスセンター	978,000	〃

・老人保健施設建設費補助金 8,106,848 円

施設名	実施額	備考
小山田老人保健施設	3,831,850	債務負担行為限度額のうち本年度分
老人保健施設みえ川村老健	1,919,736	〃
老人保健施設ちゅうぶ	1,315,789	〃
富田浜老人保健施設	1,039,473	〃

・軽費老人ホーム建設費補助金 9,549,683 円

施設名	実施額	備考
小山田ケアハウス	1,950,63	債務負担行為限度額のうち本年度分
ケアハウス常磐	3,564,052	〃
グリーンライフ英水苑	4,035,000	〃

・地域交流ホーム建設費補助金 1,140,050 円

施設名	実施額	備考
小山田温泉地域交流ホーム	1,140,050	債務負担行為限度額のうち本年度分

・老人福祉施設建設費補助金 34,117,112 円

施設名	実施額	備考
老人福祉施設ユートピアハウス	34,117,112	債務負担行為限度額のうち本年度分

〔社会福祉協議会運営費補助金〕 13,134,000 円  
 ・西南総合福祉センター運営費

**（児童福祉課）**

〔社会福祉振興費〕 192,000 円  
 ・母子福祉協力員活動助成費  
 〔一般経費〕 1,310,337 円  
 ・一般経費（児童福祉課）  
 〔社会福祉事業振興基金積立金〕 1,253 円（その他特財 1,253 円）  
 ・障害児福祉事業  
 （本年度末現在高 障害児福祉事業積立金 13,746,005 円）  
 〔負担金〕 1,182,000 円  
 ・三重県人権教育研究協議会他

**（保護課）**

〔行旅病人同死亡人取扱扶助費〕 1件 118,787 円（県支出金 118,787 円）  
 〔法外扶助費〕 3,907件 20,944,708 円  
 ・夏季見舞金 1,653件 15,371,000 円  
 ・歳末見舞金 1,711件 4,186,000 円  
 ・小中高校入学支度金 43件 693,000 円  
 ・就職支度金 8件 160,000 円  
 ・中1夏服購入費 24件 185,300 円  
 ・新生児分娩料差額 1件 47,128 円  
 ・行旅人措置費用 466件 262,190 円  
 ・移送費 1件 40,090 円  
 〔国民生活基礎調査等事業費〕 215,277 円（県支出金 215,277 円）

**目2 身体障害者福祉費**

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
869,231,000 円	842,744,599 円		26,486,401 円

目的	理解と交流の促進			
指標	参加者数 （障害者大会、ふれあい農園）	目標	1,000人	実績 990人 (16年度 1,060人)
説明	障害者団体による実行委員会や運営委員会で協議を重ね、障害に対する正しい理解と認識を深めるための交流・啓発活動を行いました。ふれあい農園は、天候の影響により参加人数は少なかったが、障害者団体等の取組みとして定着しており、今後も、障害者団体間の連携を強め協働で事業を推進します。			

〔ふれあい農園運営費〕 参加 390人 1,410,311 円  
 〔障害者福祉推進事業費〕 2,971,146 円  
 ・障害者大会 参加 600人

目的	雇用・就労の促進（社会参加）
----	----------------

指標	市内の授産施設・小規模作業所数	目標	1施設	実績	1施設 (16年度1施設)
説明	身体障害者通所授産施設あさけワークスでは、印刷やリサイクル事業等の授産活動を通じて社会生活能力を高め、自立や社会参加の促進を図っています。事業者の協力を得て、就労への経験を積む取組みとして、事業所での授産活動（施設外授産）を実施するほか、新たに1人（計3人）の重度重複障害者を受入れ、ニーズに応える施設運営を行いました。				
	〔あさけワークス管理運営費〕	56,516,191円	〔国庫支出金 17,047,100円〕		
	社会福祉協議会へ管理運営委託	通所者数 19人	〔その他特財 454,800円〕		
	〔あさけワークス耐震補強事業費〕	3,503,850円			
	〔福祉の店運営費補助金〕	4,318,956円			
	延べ開店日数 595日、売上点数 11,134点	売上金額 4,143,928円			

目的	社会参加活動の促進支援				
指標	移動支援事業登録者数	目標	1,200人	実績	1,311人 (16年度1,177人)
説明	視覚障害者の外出を支援するガイドヘルパー派遣事業、重度身体障害者の移動手段を確保する移動支援事業、コミュニケーション手段を確保する手話通訳者派遣事業等、障害者の社会参加活動を促進するための施策を実施しました。移動支援事業は、高齢者や障害者の増加とともに登録が増えています。				
	〔福祉環境整備事業費〕	1,409,200円	点字ブロック敷設整備事業、交通施設バリアフリー化施設整備補助金（近鉄富田駅）		
	〔ガイドヘルパー派遣事業費〕	4,631,450円	〔国庫支出金 2,976,800円〕		
	派遣対象者数 50人 派遣時間 4,117時間		〔県支出金 1,488,344円〕		
	〔手話通訳者派遣事業費〕	3,292,475円	〔県支出金 2,360,000円〕		
	派遣依頼件数 621件 派遣延べ人数 952人				
	〔重度障害者タクシー料金助成事業扶助費〕	63,159,340円	初乗り運賃相当額の乗車券を年72枚交付 延べ99,815枚		
	〔重度身体障害者移動支援事業費補助金〕	8,300,000円	〔県支出金 800,000円〕		
	利用者数 6,585人 運行回数 3,795回		リフトタクシーを運行するフットワークエクスプレス(株)へ運行経費を補助		
	〔自動車燃料費用助成事業扶助費〕	14,808,054円	延べ6,382件		
	〔自動車改造給付費〕	957,290円	〔県支出金 660,000円〕		
	1件当たり100,000円限度 11件分				
	〔自動車操作訓練給付費〕	400,000円	〔県支出金 267,000円〕		
	運転免許取得費の助成 1件当たり100,000円限度 4件分				

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内のデイサービス実施施設数	目標	30施設	実績	33施設 (16年度29施設)
説明	障害者福祉センターにおいて機能訓練、創作的活動、社会適応訓練等の事業を実施するとともに、介護保険通所介護事業所を活用（相互利用）し、身体障害者デイサービス事業の利用を促進しました。身近なところでのデイサービスの提供を目指して、4施設増加の30施設の介護保険通所介護事業所と契約しました。				
	〔障害者福祉センター管理運営委託費〕	36,432,971円	〔国庫支出金 1,094,056円〕		
	社会福祉協議会へ管理運営委託		〔県支出金 1,161,000円〕		
			〔その他特財 194,650円〕		
	〔障害者介護保険施設等利用事業費〕	47,273,920円	〔国庫支出金 17,788,117円〕		
	療護施設2か所・2,256回		〔県支出金 9,459,000円〕		
	介護保険通所介護事業所30か所・2,478回				
	デイサービス4,734回、訪問入浴638回、訪問給食10,490回				
	〔身体障害者スポーツ振興事業費補助金〕	100,000円	〔県支出金 67,000円〕		

身体障害者スポ・レク大会補助金

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	ホームヘルプサービス利用者数	目標	115人	実績	105人 (16年度101人)
説明	ホームヘルパーの派遣、福祉電話・緊急通報装置の貸与、福祉機器や日常生活用具の給付等各種施策を実施し、地域における自立生活を支援するほか、情報提供や福祉サービスの利用援助を行う障害者自立生活支援センターかがやきの委託運営を行いました。支援費制度の定着とともにホームヘルプサービスの利用者数は横ばい状態ですが、その利用量(派遣時間数)は伸びており、今後も充実に努めます。				

〔ホームヘルプサービス事業費〕	106,583,460円	国庫支出金 49,779,200円
派遣時間数 35,093時間		県支出金 24,888,656円
〔在宅重度身体障害者短期入所事業費〕	7,032,340円	国庫支出金 3,724,000円
利用日数 890日、利用者数 41人		県支出金 1,862,000円
〔福祉電話貸与事業費〕	431,676円	
20台分		
〔緊急通報装置貸与事業費〕	3台 90,720円	
〔福祉機器購入費補助金〕	687,688円	
補助件数 18件 エアーパット2件、点字出版物7件、パルスオキシメータ6件		
電磁波防護服 3件		
〔障害者生活支援センター事業費〕	3,046,636円	
在宅の障害者に在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、社会生活力を高めるための支援等を行う生活支援センター事業を社会福祉法人四日市市社会福祉協議会に委託実施しました。		
相談人数 268人 延べ431件		
〔身体障害者社会参加促進事業〕		
情報機器指導援助事業費	500,000円	(県支出金 333,000円)
外出の困難な在宅重度障害者を対象に、パソコン操作方法の訪問指導を行いました。		
〔日常生活用具給付費〕	21,511,280円	(県支出金 11,014,000円)
給付件数 281件		
入浴補助用具15件、特殊寝台16件、聴覚障害者用通信装置51件、視覚障害者用拡大読書器14件等		
〔補装具交付・修理費扶助費〕	53,691,036円	(国庫支出金 19,255,080円)
交付件数 2,626件(車いす45、補聴器90等)		
修理件数 164件 計 2,790件		
〔福祉住宅相談室経費〕	120,509円	
〔点字・録音広報委託料〕	1,046,000円	(県支出金 697,000円)

目的	生活環境の整備				
指標	住宅改造費補助件数	目標	18件	実績	13件 (16年度18件)
説明	在宅の重度肢体障害者に住宅改造費用の一部を補助することにより、浴室・便所の改善、スロープの設置、段差の解消など、住環境の整備を促進しました。今後も、重度障害者の地域生活を支える重要な施策として、実施していきます。				

〔在宅重度身体障害者住宅改造費補助金〕 4,402,115円 (県支出金 1,067,000円)

目的	雇用・就労の促進(在宅福祉)				
指標	はり・きゅう・マッサージ利用券の使用枚数	目標	14,100枚	実績	11,697枚 (16年度12,757枚)
説明	視覚障害者が行うはり・きゅう・マッサージ(三療)利用料金を助成することにより、その就業を支援するとともに、肢体障害者や高齢者の健康維持・増進を図りました。施術者の高齢化等のため利用券の取扱量が減少しており、広報や地区広報を活用して利用の促進を図ります。				

〔はり・きゅう・マッサージ給付事業費補助金〕 11,757,900円

1枚当たり1,000円補助

目的	保健・医療の充実				
指標	更生医療利用者数	目標	260人	実績	262人 (16年度261人)
説明	障害を軽減するための入院・通院治療にかかる医療費給付を行ったほか、三重県身体障害者総合福祉センターに委託し、交通事故等の脳外傷による高次脳機能障害者に必要な生活訓練指導を行う事業を実施しました。				

〔更生医療給付費〕 31,086,894円 (国庫支出金 15,474,121円)

レセプト枚数 837枚(心臓413枚、腎臓209枚、その他215枚)

〔高次脳機能障害者生活支援事業〕 2,192,700円 (県支出金 1,190,350円)

利用者 3名

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設定員数	目標	160人	実績	160人 (16年度160人)
説明	「施設から地域へ」の流れの中においても、障害や介護の状況等によっては入所施設が必要です。療護施設や更生施設、授産施設に約80名の方が入所しており、引き続き生活の場を提供し支援に努めました。				

〔更生援護施設事務事業費〕 327,181,360円 (国庫支出金 163,467,100円)

通所施設の利用状況

施設名	前年度末入所者数	入所	退所	本年度末入所者数	支援費(円)
三重県身体障害者総合福祉センター通所	0	1		1	1,485,600
小山田苑通所	1			1	1,761,500
エビノ園通所	4		1	3	6,964,500
菰野聖十字の家通所	2			2	3,819,900
わだちコンピュータハウス	1			1	1,651,420
第2八野ワーク通所	4		1	3	5,540,440
合計	12	1	2	11	21,223,360

入所施設の利用状況

施設名	前年度末入所者数	入所	退所	本年度末入所者数	支援費(円)
小山田苑	22		1	21	89,547,800
エビノ園	28			28	117,417,800
菰野聖十字の家	10		1	9	40,539,100
三雲カトリックの家	6			6	27,660,000
ケアホーム熊南	1			1	3,654,700
三重県身体障害者総合福祉センター	6	2	5	3	10,684,600
八野ワーク入所	3	1		4	6,819,100
東京都清瀬園	1			1	1,894,100
春日苑	1			1	4,589,500
港ワークキャンパス	1	1		2	3,151,300
合計	79	4	7	76	305,958,000

〔進行性筋萎縮症者措置費〕 15,366,588円 (国庫支出金 7,664,309円)

国立療養所鈴鹿病院への措置 4人

目的	障害者のスポーツ活動等の振興				
指標	障害者体育センター利用者数	目標	3,500人	実績	3,184人 (16年度2,959人)
説明	障害者がスポーツを通じて機能の維持・健康の増進を図るとともに、相互の交流と理解を深めるための活動の場として障害者体育センターを設置し、特定非営利活動法人障害者福祉チャレンジド・ネットに管理運営を委託しました。施設周辺の学校等一般利用が減少したため、利用者数は目標値を下回りました。				

〔障害者体育施設管理運営費〕 4,066,229円

開館日数 296日、利用日数 226日

〔障害者体育センター施設耐震補強工事〕 474,600円

目3 知的障害者福祉費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,244,488,000円	1,203,110,699円		41,377,301円

目的	雇用・就労の促進（社会参加）				
指標	市内の授産施設・小規模作業所数	目標	14施設	実績	14施設 (16年度14施設)
説明	知的障害者通所授産施設共栄作業所の管理運営委託や心身障害者小規模作業所等への運営費補助・通所費助成を行い、日中活動や就労の場の確保に努めるとともに、小規模作業所の18年度創設に向けた保護者等の活動を支援しました。				

〔共栄作業所管理運営委託費〕 68,940,336円

社会福祉協議会へ管理運営委託 定員 37人 通所者数 延べ 444人

〔心身障害者小規模授産事業運営費補助金〕 72,281,000円

国庫支出金 34,286,950円

その他特財 325,700円

県支出金 22,535,000円

その他特財 1,974,000円

施設名	実施額(円)	延べ通所者数
みはま作業所	6,851,000	99人
富州原授産所	13,208,000	259人
生活倶楽部きりん	8,300,000	124人
尾上授産所	10,647,000	176人
みどりの家日永	9,537,000	167人
ケアサロンぬくもり	9,562,000	170人
日永福祉作業所	6,818,000	99人
メダカ出版所	6,462,000	69人
四季の会(鈴鹿市)	896,000	48人

〔心身障害者小規模授産施設等通所費扶助費〕 6,846,292円

通所費助成件数 496件

〔知的障害者小規模通所授産施設運営費補助金〕 4,100,000円

らふかっと 延べ利用者数 55人

〔県支出金 2,625,000円

その他特財 355,000円〕

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内のデイサービス実施施設数	目標	1施設	実績	1施設 (16年度1施設)
説明	知的障害者デイサービス施設は1施設ですが、その他にも重度重複障害者（重症心身障害者）のための通所更生施設は2施設あり、ともに重要な日中活動の場となっています。重度障害者の地域生活を支えるため、今後も施設運営の充実や支援に努めます。				

〔知的障害者デイサービス事業費〕 11,848,100円

〔国庫支出金 5,989,000円〕

清和デイサービスセンター 利用者数 36人 県支出金 2,994,000円  
〔重度知的障害者通所更生施設運営費補助金〕 34,795,000円 (県支出金 1,128,000円)  
サクラノ園に対する運営費助成 定員30人 通所者数 延べ360人  
〔心身障害者通所バス運行事業委託費〕 14,469,000円  
たんぼぼへの送迎を委託 バス2台  
〔たんぼぼ管理運営委託費〕 107,736,272円 (国庫支出金 34,698,000円)  
社会福祉協議会へ管理運営委託 定員35人 通所者数 延べ420人

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	ホームヘルプサービス利用者数	目標	55人	実績	82人 (16年度51人)
説明	福祉サービスを利用して地域で暮らす、介護負担の軽減を図るといった考え方が浸透し、ホームヘルプサービス利用者数も目標値を上回る増加となりました。この利用者の増加に対応できるよう知的障害者担当ヘルパーの養成を行い、サービス提供量と質の向上を図りました。また、知的障害者短期入所事業(ショートステイ)等の施設による福祉サービスの利用促進に努め、地域の自立生活支援を行いました。				
	〔ホームヘルプサービス事業費〕	21,251,910円		〔国庫支出金 10,457,000円 県支出金 5,229,000円〕	
	派遣時間数 6,253時間 障害者担当ヘルパー養成講座の開催				
	〔知的障害者短期入所事業費〕	16,844,130円		〔国庫支出金 9,599,000円 県支出金 4,799,000円〕	
	わかたけ萩の里、清和苑、垂坂山ブルーミングハウスほか 利用日数2,833日、利用者数150人				

目的	自立生活の支援				
指標	グループホーム利用者数	目標	23人	実績	37人 (16年度28人)
説明	グループホームは、知的障害者が地域で自立し安定した生活を営むことができる場です。「施設から地域へ」を実現するため、入所施設系のグループホームが増える傾向にある中、17年度は、通所施設の保護者が力を合わせ、2つのグループホームを創設しました。今後も連携して、地域生活の場を整備します。				
	〔地域生活援助事業費〕	31,947,520円		〔国庫支出金 16,220,000円 県支出金 8,110,000円〕	
	グループホーム 18か所 37人				
	〔生活ホーム運営委託費〕	7,751,300円		(県支出金 2,649,400円)	
	松本ハウス3人、富田ハウス5人				

目的	雇用・就労の促進(在宅福祉)				
指標	職親利用者数	目標	2人	実績	2人 (16年度2人)
説明	知的障害者の一般就労を支援するため、職親に委託して就労に必要な技能の修得及び生活指導を行いました。				
	〔職親委託事業費〕	720,000円		(国庫支出金 193,000円)	

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設定員数	目標	160人	実績	160人 (16年度160人)
説明	「施設から地域へ」を目指してグループホームの整備等が進められていますが、入所者の障害や介護の状況等によっては、入所施設(更生施設)が必要です。既存施設の老朽化や児童施設から成人施設への転換等の課題にも対応しながら生活の場を確保します。				

〔更生援護施設事務事業費〕 803,367,653円 (国庫支出金 402,868,399円)  
通所施設の利用状況

施設名	前年度末 入所者数	入所	退所	本年度末 入所者数	支援費（円）
清和ワークキャンパス	27		3	24	48,377,900
バンブーハウス	9		1	8	16,191,500
かすみヶ浦ブルーミングハウス	26		3	23	45,832,900
わかたけ萩の里	28		2	26	51,376,200
ワークセンターひのき	9			9	22,990,400
サクラノ園	30		1	29	60,919,100
わかたけ笹川の家	5			5	7,960,900
グリーンランド	12			12	23,611,030
すずかぜ	9		1	8	16,666,700
愛光園ひかりのさとファーム	1			1	1,928,500
フェア・ワークス下野	6	2		8	17,347,600
らふかっと	0	13	1	12	19,411,200
合計	162	15	12	165	332,613,930

入所施設の利用状況

施設名	前年度末 入所者数	入所	退所	本年度末 入所者数	支援費（円）
和順寮	11			11	34,553,500
知的障害者センター（はばたき）	3		3	0	3,678,800
成峯寮	10			10	27,402,200
津長谷山学園	4			4	11,637,100
和順学園	5			5	15,517,700
あさけ学園	13		1	12	38,043,400
済美寮	2			2	4,829,000
長谷山寮	8	1		9	24,868,100
まもり苑	2			2	5,649,700
聖母の家	25		1	24	70,724,400
彦根学園	2			2	5,761,700
しらさぎ園	4			4	13,272,700
三重県いなば園すぎのき寮	4	2		6	11,053,480
〃 かしのみ寮	4			4	23,130,180
〃 もみのき寮	2	1	1	2	6,693,340
名古屋市希望荘	1			1	2,570,000
奈良県立大淀授産所	1			1	3,459,600
向陽園	1			1	3,061,300
垂坂山ブルーミングハウス	13	2	2	13	35,895,500
緑の丘	2	1		3	6,339,090
くわのみ	3			3	9,858,100
清和苑	22			22	67,765,000
れんげの里	3			3	10,299,700
風の丘	1			1	3,736,700
渡会学園	1			1	3,066,900
通勤寮ブルーミング	10	1	2	9	10,599,500
通勤寮のぞみ荘	1			1	906,300
いつきの里	0	1		1	2,551,600
合計	158	9	10	157	456,924,590
措置医療費					13,334,621

・診療報酬支払事務委託

494,512 円

#### 目 4 精神障害者福祉費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
52,847,000 円	51,179,135 円		1,667,865 円

目的	雇用・就労の促進（社会参加）				
指標	市内の授産施設・小規模作業所数	目標	5 施設	実績	5 施設 (16 年度 5 施設)
説明	精神障害者の授産施設・小規模作業所のうち、小規模作業所と小規模通所授産施設の各 1 か所の施設が移転し、設備の改善が行われました。受入条件が整えば退院可能な精神障害者の円滑な地域移行が必要であり、今後も施設の運営費や通所費を助成し、日中活動や社会参加の場となる小規模作業所等の整備を進めます。				

〔精神障害者小規模授産施設運営費補助金〕 18,037,000 円（県支出金 5,846,000 円）

施 設 名	実 施 額（円）	延べ通所者数
コミュニティハウス・オレゴン	7,331,000	137 人
わかば共同作業所	10,706,000	283 人

〔精神障害者小規模通所授産事業運営費補助金〕 12,708,000 円（県支出金 7,875,000 円）

みのり工房 延べ利用者数 246 人

〔精神障害者小規模授産施設等通所費扶助費〕 1,841,505 円

通所費助成件数 146 件

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	ホームヘルプサービス利用者数	目標	40 人	実績	37 人 (16 年度 29 人)
説明	平成 14 年度に制度化された精神障害者のホームヘルプサービスは、関係機関等との連携により利用者の増加につながっています。このため、精神障害者担当ヘルパーの養成講座を開催し、理解の促進とサービス提供体制の整備を図りました。今後とも退院の促進や地域生活の実現に向けて支援します。				

〔ホームヘルプサービス事業費〕 6,117,590 円（県支出金 4,777,000 円）

派遣時間数 1,595 時間

精神障害者ホームヘルパー養成研修、精神障害者ホームヘルパーフォローアップ講習会の開催

〔短期入所事業費〕 608,020 円（県支出金 551,000 円）

生活訓練施設（スマイルハウス、さんさん） 3 人 利用日数 86 日

目的	自立生活の支援				
指標	グループホーム利用者数	目標	19 人	実績	17 人 (16 年度 17 人)
説明	精神障害者が地域社会の中で自立し安定した生活を営むことができるよう、グループホームの運営費補助を行いました。「入院生活から地域生活へ」を実現していくため、グループホームの開設に関して障害者団体や障害者福祉施設等と協議を重ね、その整備充実に取り組めます。				

〔精神障害者地域生活援助事業費〕 10,047,280 円（県支出金 7,535,000 円）

グループホーム笹川、みどり荘、ファミリーヒナガ A・B、グループハウス、

精神障害者地域生活援助事業所ハマユリ、グループホーム川島 延べ利用者数 196 人

目的	障害者施策の総合的・計画的推進			
----	-----------------	--	--	--

指標	会議開催回数（障害者施策推進協議会・精神障害者連絡調整会議）	目標	6回	実績	3回 （16年度4回）
説明	障害者団体や関係機関との連絡調整を図り、障害者施策の推進について協議するため、障害者施策推進協議会や精神障害者連絡調整会議を開催しました。障害者施策の進捗状況の把握や精神障害者の地域生活支援を協働して推進します。				

〔精神障害者連絡調整事業費〕 2回開催 174,020円

## 目5 老人福祉費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
458,693,000円	440,851,290円		17,841,710円

目的	高齢者の自立した生活を支援				
指標	在宅介護支援センター相談件数	目標	70,000件	実績	92,524件 （16年度 71,342件）
説明	ひとり暮らしや高齢者世帯が増加する中、介護を要する状態になっても在宅で自立した生活を継続できるよう、市内25ヶ所の在宅介護支援センターに相談業務を委託し、状況に応じて訪問給食事業などの福祉サービスを提供しました。今年度は介護保険制度の改正に関する問い合わせや相談が昨年度よりも約20,000件増え、地域の身近な相談窓口として機能することができました。				

〔老人福祉一般事業費〕 60,000円  
・老人ホーム入所判定委員会経費（開催回数7回）60,000円

〔介護予防・地域支え合い事業費〕 169,271,295円（県支出金 77,348,000円）

- ・生活支援老人ホームヘルプサービス事業費 823,660円  
延べ利用人数 124人
- ・生活支援老人デイサービス事業費 409,860円  
延べ利用人数 21人
- ・訪問給食事業費 88,579,230円  
延べ利用人数 13,596人
- ・家族介護支援事業 66,768,455円  
おむつ支給事業 66,424,660円  
延べ利用人数 10,851人
- ・家族介護ヘルパー受講支援事業 5人 25,000円
- ・徘徊高齢者支援サービス 2人 18,795円
- ・家族介護慰労事業 3人 300,000円
- ・福祉電話貸与事業費 12,690,090円  
緊急通報機能付き電話貸与事業  
本年度末貸与台数 438台

〔在宅老人福祉事業費〕 148,380,923円

- ・日常生活用具給付等事業費 1,343,080円（県支出金 895,000円）  
延べ給付件数 862件
- ・高齢者住宅改造費補助金 7,294,100円（県支出金 2,681,000円）  
本年度実績 30件
- ・在宅介護支援センター事業費 139,743,743円（県支出金 104,807,000円）  
本年度末現在 25カ所

〔老人福祉施設事務費事業費〕 55,473,471円〔その他特財 11,189,489円〕

養護老人ホームへの措置状況

施設名	前年度未 入所者数	入所 措置	退所措置	本年度未 入所者数	措置費(円)
(寿楽園)	(108)	(11)	(22)	(97)	(178,361,088)
みずほ寮	8	0	0	8	18,313,916
翠明院	8	0	2	6	17,051,637
高田慈光院	3	0	0	3	6,212,970
梨の木園	4	1	1	4	11,821,440
桑名市清風園	1	0	0	1	2,086,250
小計	24	1	3	22	55,473,471
計	132	12	25	119	233,847,301

目的	介護予防の推進				
指標	福祉施設等保健福祉リーダー養成講座（音楽療法講座）開催回数	目標	6回	実績	6回 (16年度 6回)
説明	音楽療法を活用しての介護予防を推進するため、認知症対応型グループホーム、通所介護事業所の介護職員を対象に市内3ヶ所の事業所で講座を開催し、延べ172名の参加がありました。また、平成15年度の講座の修了生が中心になって自主サークルを結成し、地域や介護保険サービス事業所で活動しています。				

〔いきがい対策事業費〕	10,641,283円		
・ふれあいいきいきサロン推進事業	10,641,283円		
〔福祉人材養成事業費〕	614,540円		
・福祉施設等保健福祉リーダー養成講座	164,540円	(県支出金	123,000円)
・3級ヘルパー養成講座	450,000円		

目的	社会参加活動の支援				
指標	60歳以上の老人クラブ加入率	目標	29%	実績	28% (16年度 29%)
説明	地域社会において高齢者の健康増進、相互扶助や社会貢献などの取り組みを行う老人クラブに対して運営補助を行いました。また、子ども達との交流事業など特色のある事業に対して市内23の単位老人クラブに補助しました。その他、市老人クラブ連合会にボランティア活動や子供への交通安全指導などの社会参加活動を推進するよう事業委託をしました。高齢者の活動の場が増え、老人クラブの加入率はここ数年減っていますが、平成17年度は子どもの見守りなど社会的なニーズに対応した活動も取り込まれるようになりました。				

〔老人福祉一般事業費〕	30,496,546円		
・敬老事業費	30,496,546円		
敬老金の支給(100歳)	2,400,000円		
地区敬老行事への補助	28,021,680円		
敬老訪問等	74,866円		
〔いきがい対策事業費〕	16,749,920円		
・老人社会参加活動育成事業 (28地区クラブ、四日市市老人クラブ連合会)	1,697,400円		
・老人クラブ運営費補助金(242クラブ21,728人)	14,152,520円	(県支出金	7,529,000円)
・老人憩いの広場整備事業費補助金	900,000円		

その他経費

〔在宅老人福祉事業費〕		7,366,257 円	
・低所得者利用者負担対策事業費	234 人	2,488,782 円	( 県支出金 1,866,000 円 )
・社会福祉法人等施設利用者負担額等減免補助	262 人	4,877,475 円	( 県支出金 3,641,000 円 )
〔老人福祉一般事業〕		462,185 円	
・高齢者保健福祉計画等策定推進事業費		462,185 円	
〔寿楽園民営化事務事業費〕		249,520 円	

## 目 6 国民年金費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
10,014,000 円	9,497,638 円		516,362 円

第 1 号被保険者にかかる各種届出の受理等を法定受託事務として、また、市民の年金権確保のため年金制度の啓発活動、年金未加入者の加入支援を協力・連携事務として行いました。

〔国民年金事務費〕	9,482,638 円	( 国庫支出金 9,482,638 円 )
〔負担金〕	15,000 円	( 国庫支出金 15,000 円 )
資格関係届出書受付	7,069 件	
免除申請受付	10,562 件	
年金裁定請求等の受付	2,471 件	

### 国民年金の適用状況

区 分	第 1 号被保険者	任意加入被保険者	第 3 号被保険者	合計
年度末現在の被保険者数(人)	45,721	621	31,200	77,542

## 目 7 老人福祉施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
119,566,000 円	108,812,881 円		10,753,119 円

目的	老人を養護するための入所施設及びショートステイ施設の適正管理				
指標	入所者数等	目標	月平均 119.0 人	実績	月平均 108.5 人 ( 16 年度平均 117.0 人 )
	ショートステイ 利用日数		年 間 750 日		年 間 1,026 日 ( 16 年度 729 日 )
説明	原則として 65 歳以上で低所得かつ心身の虚弱な老人が生活する養護老人ホームにおいて、入所者が健康で安心して暮らせるよう適正な施設の管理・運営に努めました。年度当初に身体介護、家事・生活援助の側面から入所者ごとの個別処遇方針を立て年間の処遇にあたりました。入所者数が減った理由としては、長期入院、特別養護老人ホーム入所、死亡などの退所者が増え、一方、2 人部屋であることから入所を希望する方も少なかったことがあげられます。また、入所者の処遇改善を図るため、民営化に向けて移管先の選定を行った結果、社会福祉法人「三重福祉会」に決定し、円滑に移管できるよう引継ぎを行いました。				

〔非常勤職員報酬〕	2,592,000 円	
・嘱託医師 1 人		〔 県支出金 2,954,242 円 その他特財 63,060,220 円 〕
〔寿楽園管理運営費〕	39,133,708 円	
〔寿楽園入所者関係経費〕	12,401,480 円	

〔寿楽園給食業務外部委託事業費〕 54,401,693 円  
 〔寿楽園施設整備事業費〕 126,000 円  
 〔負担金〕三重県老人福祉施設協会等 158,000 円

《入所者の状況》

《ショートステイ利用状況》

性別	前年度未入所者数	入所措置	退所措置	本年度未入所者数
男	38人	6人	8人	36人
女	77人	5人	14人	68人
計	115人	11人	22人	104人

年度	利用者数	延日数
15	36人	582日
16	27人	729日
17	38人	1,026日

目8 老人福祉センター費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,423,000 円	59,142,306 円		1,280,694 円

目的	介護予防事業の実施			
指標	老人福祉センター等利用者数	目標	110,000 人	実績
				98,882 人 (16年度 108,043 人)
説明	高齢者の健康で生きがいのある生活への支援を目的とした中央及び西老人福祉センターの利用者数は 98,882 人でした。本年度は、西老人福祉センター給湯ボイラー取替工事に伴う閉鎖期間が発生したことも影響し、昨年より利用者数が減少しました。平成 17 年度は指定管理者の選考を行った結果、平成 18 年度から中央老人福祉センターは従来どおり社会福祉法人「四日市市社会福祉協議会」、西老人福祉センターは新たに社会福祉法人「風薫会」に委託することとなりました。			

〔老人福祉センター管理運営費〕 59,142,306 円

中央老人福祉センターの利用状況

性別	団体利用者数(人)	個人利用者数(人)	合計(人)
男	3,345	27,562	30,907
女	5,215	12,992	18,207
計	8,560	40,554	49,114

西老人福祉センターの利用状況

性別	団体利用者数(人)	個人利用者数(人)	合計(人)
男	270	28,437	28,707
女	1,404	19,657	21,061
計	1,674	48,094	49,768

項2 児童福祉費

目1 児童福祉総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,922,017,000 円	5,899,779,133 円		22,237,867 円

〔一般職給〕 360人

2,525,744,436 円

〔国庫支出金 7,363,000 円〕

県支出金 18,100,000 円  
 その他特財 508,018,000 円

〔再任用職給〕 6人 18,131,539 円  
 〔嘱託職給〕 28人 94,039,350 円

（児童福祉課）

目的	子育て家庭への支援サービスの提供				
指標	あそぼう会参加者数	目標	67,000 人	実績	69,766 人 (16年度 65,872 人)
説明	<p>育児の不安やストレスを抱える家庭が増加する中、海蔵保育園を新たに地域子育て支援センターとして指定、民間保育所や医療機関と合わせ計 8 ヶ所の子育て支援センターと保育園で、楽しんで子育てできるように相談や情報提供を行うほか、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行いました。関係機関や地域が未就園児童等の情報を共有し、支援を必要とする家庭に早期に育児支援を行うため「地域子育てネット 0～6」会議を開催し、地域の子どもの「見守り」に努めました。</p> <p>子どもの虐待の早期発見、早期対応、未然防止に向けて保健、医療、福祉、教育、警察、司法、地域等関係機関が定期的に「四日市市子どもの虐待防止ネットワーク会議」を開催するとともに、市民との協働で行う子育て応援フェスタ・セミナーの開催など、虐待防止ネットワーク事業を実施しました。今後も、地域や子育てを支援する団体、関係者との連携を図りながら、育児不安の解消など、子育て家庭に対する支援を進めます。</p> <p>公立保育園の民営化については、「四日市市立保育園移管先法人選定委員会」において応募提案を審査し、移管先法人を選定しました。今後も移管先法人と協議を進め、移管する保育園（移管園）5 園について、移管園に移管前年度から法人の保育士を受け入れ、1 年間をかけて円滑に保育に関する引継ぎを行います。</p>				

〔子育て支援センター管理運営費〕 1,749,956 円  
 〔子育て支援センター事業費〕 760,120 円  
 〔児童福祉一般事業費〕 615,485,509 円  
 ・家庭児童相談経費 254,442 円  
 ・児童虐待防止対策事業費 1,382,048 円  
 ・一般経費 3,001,329 円  
 ・臨時職員賃金 610,847,690 円

（その他特財 3,968 円）  
 国庫支出金 6,000,000 円  
 県支出金 29,022,324 円  
 その他特財 5,087,687 円

〔次世代育成支援行動計画推進事業費〕 326,266 円  
 〔保育所民営化推進事業費〕 2,439,455 円  
 〔負担金〕  
 東海北陸保育研究大会負担金 500,000 円

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	病児保育室利用者数	目標	3.1 人/日	実績	3.5 人/日 (16年度 3.3 人/日)
説明	<p>病気回復期の児童を預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援しました。利用者数の増加の主な理由は、冬期におけるインフルエンザの流行によるものです。なお、病児保育室の利用定員は、1 日につき 6 人です。</p>				

〔病児保育室管理運営費〕 14,887,042 円

（国庫支出金 5,658,000 円  
 その他特財 1,112,500 円）

年間実績

開設日数	登録者数	延べ利用者数
294 日	1,169 人	1,037 人

目的	経済的安定と自立を図るための支援				
指標	相談件数	目標	1,300 件	実績	858 件

				(16年度 1,261件)
説明	母子福祉センターにおいて、母子自立支援員による相談業務や支援を行い、技能習得講座を通じて生活の安定と自立を図りました。地域において、母子福祉協力員、民生委員・児童委員等による、母子・寡婦家庭が気軽に相談できる場が増えたため、目標ならびに前年度実績を下回ることができました			

〔母子福祉センター管理運営費〕 4,250,197円

年間実績

相談件数 858人  
 技能習得講座延べ受講者数 183人  
 サークル延べ活動者数 1,131人

目的	障害児の療育等の充実			
指標	障害児・保護者訓練指導実施者数	目標	延べ2,441人	実績 延べ3,762人 (16年度延べ1,740人)
説明	平成17年度から、就学後から18歳未満の児童と、あけぼの学園経験児（未就学児）への援助を統合して行うこととし、あけぼの学園と健康増進センターにおいて、発達に遅れのある児童とその保護者に対し言語及び理学等の訓練援助を行いました。ボランティア団体が実施する障害児訓練事業に対して助成することにより、障害児の機能強化の推進を図りました。おもちゃ図書館において、障害のある子どもがおもちゃを通して仲良く遊び、ふれあえるきっかけをつくるとともに、心身に障害のある子どもの情緒や生活機能の発達を促しました。			

〔心身障害児訓練事業費〕 642,515円（その他特財 600,000円）

障害児・保護者訓練指導事業実績 登録児童数 492人

区分	心理	言語	理学	作業	計
援助種目別登録児童数	222人	415人	134人	227人	998人
延べ訓練指導実施児童数	365人	1,691人	959人	747人	3,762人

P・T（理学療法）スイミング事業実績（学齢以上）

登録児童数 39人 延べ訓練指導実施児童数 90人

〔障害児機能強化事業費補助金〕 204,000円

〔おもちゃ図書館管理運営費〕 1,213,142円

延べ利用者数 5,363人

### （障害福祉課）

目的	在宅福祉サービス等の充実			
指標	日常生活用具・補装具交付数	目標	725件	実績 577件 (16年度645件)
説明	児童の在宅生活を支援するため、日常生活用具の給付や補装具の交付・修理を行いました。今後も必要な日常生活用具や補装具の利用を促進します。			

〔日常生活用具給付費〕 交付21件 1,329,285円（県支出金 760,000円）

〔補装具交付・修理費扶助費〕 29,863,269円（国庫支出金 14,950,000円）

補装具交付件数 490件・修理件数 66件 計556件

### （保健福祉課）

目的	各種手当の支給			
指標	受給者数等	目標	19,649人	実績 19,094人 (16年度19,005人)
説明	児童の健全育成や児童の福祉の増進を図ることを目的に、各種手当を支給することにより経済的な支援を行いました。母子家庭が増加していることから児童扶養手当の受給資格者数が74人の増となりました。			

（受給資格者数は年度末）

〔児童手当の支給〕

児童手当	16,262人(16年度16,269人)	1,576,090,000円	
区分	受給者数	対象児童数	支給額
・被用者	3,633人	4,010人	275,730,000円
・非被用者	1,677人	1,843人	126,115,000円
・特例給付	1,596人	1,732人	116,610,000円
・小3修了前被用者	6,835人	12,678人	782,800,000円
・小3修了前非被用者	2,521人	4,375人	274,835,000円
			特定財源
			国庫支出金 248,562,000円
			県支出金 13,809,000円
			国庫支出金 84,496,666円
			県支出金 21,124,166円
			国庫支出金 116,945,000円
			国庫支出金 521,910,000円
			県支出金 130,477,500円
			国庫支出金 183,376,666円
			県支出金 45,844,166円

〔児童扶養手当の支給〕

児童扶養手当 受給資格者数 2,525人(16年度2,448人) 1,002,060,030円  
(国庫支出金 751,392,652円)

〔重症心身障害児手当の支給〕

重症心身障害児手当 受給者数 307人(16年度288人) 7,104,000円

## 目2 保育所費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
446,942,000円	411,723,010円		35,218,990円

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	公立保育園入園児童数	定員	2,750人	実績	2,769人 (16年度2,826人)
説明	低年齢の入園児童が増加するなか、保護者の就労等により保育に欠ける乳幼児について、保護者が安心して保育園に子どもを預けられるよう努めました。 不審者侵入時の対策として、新たに防犯カメラ及び録画装置の設置を行うなど、園舎等施設の整備・改修及び適正な維持管理を行い、保育環境の向上と安全の確保に努めました。				

〔非常勤職員報酬〕	16,178,760円	
・嘱託医師 30人	8,401,720円	
・嘱託歯科医師 30人	7,777,040円	
〔保育所一般事業費〕	3,058,002円	(その他特財 1,095,000円)
〔保育所地域交流事業費〕	6,938,248円	(県支出金 6,339,196円)
〔保育所整備事業費〕	52,276,594円	(その他特財 666,000円)
・保育所整備事業費	43,277,530円	
・保育所仮設園舎整備費	3,412,500円	
内部保育園、日永中央保育園、四郷保育園園舎リース料		
・保育所備品整備費	5,586,564円	
〔保育所管理運営費〕	331,772,460円	(県支出金 150,000円)
		(その他特財 195,682,907円)
〔負担金〕	1,498,946円	(その他特財 697,480円)
・日本スポーツ振興センター共済掛け金等		

### 公立保育園入所状況

	定員	延べ入所	延べ入所児童の年齢別内訳	月平均入	児童入所率
--	----	------	--------------	------	-------



中央	4	5	5	4	4	7	7	8	8	7	8	10	77
合計	4	5	5	4	4	7	7	8	8	7	8	10	77

公立保育園一時保育年間利用実績（月別延べ利用児童数）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
くす南	3	3	3	3	2	3	6	5	4	5	2	3	42
橋北	67	46	63	68	58	76	94	109	99	80	105	113	978
合計	70	49	66	71	60	79	100	114	103	85	107	116	1020

公立保育園特定保育年間利用実績（月別延べ利用児童数）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
くす南	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	7
橋北	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	19

目3 民間児童福祉施設運営費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,069,756,000 円	1,889,637,569 円	138,596,000 円	41,522,431 円

〔明許繰越〕

〔民間保育所整備事業費〕 138,596,000 円（国庫支出金 69,298,000 円）

- ・（仮称）第二ひよこ保育園

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供					
指標	民間保育所入園児童数	定員	1,605 人	実績	1,791 人 (16年度 1,791 人)	
説明	民間保育所の適正な運営がなされるよう指導及び助言を行うとともに、民間保育所の保育内容充実のための各種補助施策を実施しました。					

〔保育所事務費事業費〕

1,483,335,468 円

- ・児童一般分

1,395,419,830 円

国庫支出金 352,136,075 円  
県支出金 176,068,037 円  
その他特財 475,660,525 円

- ・民間施設加算

87,915,638 円（県支出金 6,289,000 円）

民間保育所入所状況

保育園名	定員	延べ入所児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入所児童数	児童入所率 (%)
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
日永	90	1,302	274	265	763	109	120.56
厚生会	60	818	247	170	401	69	113.61
浜田	90	1,210	253	289	668	101	112.04
ローズ	100	1,306	393	247	666	109	108.83
海山道	120	1,656	524	362	770	138	115.00
塩浜	60	653	168	172	313	55	90.69
愛華	90	1,214	452	276	486	102	112.41
三重愛育	150	2,013	615	472	926	168	111.83
あやめ	60	662	63	130	469	56	91.94
みのり	90	1,242	467	228	547	104	115.00
かわしま	120	1,547	359	306	882	129	107.43

大谷台	110	1,499	337	330	832	125	113.56
フジ	110	1,539	534	264	741	129	116.59
いずみ	100	1,429	439	303	687	119	119.08
あがたが丘	90	1,075	340	202	533	90	99.54
ひよこ	90	1,240	564	228	448	104	114.81
陽光台	75	1,082	311	248	523	91	120.22
<b>市内民間計</b>	<b>1,605</b>	<b>21,487</b>	<b>6,340</b>	<b>4,492</b>	<b>10,655</b>	<b>1,791</b>	<b>111.56</b>
くまだ		324	94	66	164	27	
岸田		985	141	203	641	82	
広域6市1町	28園	510	261	71	178	43	
<b>市外民間計</b>		<b>1,819</b>	<b>496</b>	<b>340</b>	<b>983</b>	<b>152</b>	
<b>民間計</b>		<b>23,306</b>	<b>6,836</b>	<b>4,832</b>	<b>11,638</b>	<b>1,943</b>	

〔民間保育所振興費〕	148,507,964円		
・民間保育所運営費等補助金	26,732,880円		
・民間保育所園児健康診断料等補助金	7,977,410円		
・民間保育所障害児保育事業費補助金	3,724,880円	(県支出金	516,480円)
・民間保育所乳児保育等事業費補助金	12,176,000円	(県支出金	2,986,000円)
・民間保育所延長保育事業費補助金	74,728,019円	(国庫支出金	37,439,000円)
		県支出金	228,000円)

民間保育所延長保育年間利用実績(月別1日当たり平均利用児童数)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ローズ	9	10	11	12	10	12	11	10	12	10	11	11	129
海山道	7	8	10	9	8	9	9	9	9	9	9	9	105
塩浜	1	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	37
愛華	4	6	6	6	3	3	4	4	4	5	6	6	57
三重愛育	6	8	7	6	4	4	6	4	5	5	5	6	66
みのり	4	6	8	4	4	4	4	5	4	8	7	6	64
かわしま	3	5	4	5	3	3	3	3	4	3	2	3	41
大谷台	3	3	5	3	3	3	3	4	4	4	4	4	43
フジ	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
いずみ	7	7	7	7	7	9	8	7	7	8	10	9	93
あがたが丘	4	4	4	4	4	4	5	3	5	4	5	5	51
ひよこ	27	29	28	23	20	25	25	24	22	20	24	24	291
陽光台	2	3	2	3	2	3	3	3	2	2	3	2	30
<b>合計</b>	<b>97</b>	<b>113</b>	<b>116</b>	<b>106</b>	<b>91</b>	<b>102</b>	<b>104</b>	<b>99</b>	<b>101</b>	<b>101</b>	<b>109</b>	<b>108</b>	<b>1,247</b>

・民間保育所一時保育事業費補助金 7,733,700円 (県支出金 2,592,000円)

○ 民間保育所一時保育年間利用実績(月別延べ利用児童数)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
愛華	74	84	117	97	46	123	141	119	100	118	134	136	1,289
いずみ	126	116	156	149	123	149	151	160	136	129	138	119	1,652
ひよこ	124	121	195	171	114	160	125	127	100	113	139	168	1,657
<b>合計</b>	<b>324</b>	<b>321</b>	<b>468</b>	<b>417</b>	<b>283</b>	<b>432</b>	<b>417</b>	<b>406</b>	<b>336</b>	<b>360</b>	<b>411</b>	<b>423</b>	<b>4,598</b>

・民間保育所特定保育事業費 8,262,000円 (県支出金 5,508,000円)

その他特財 727,500 円

民間保育所特定保育年間利用実績（月別延べ利用児童数）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
愛華	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
いずみ	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
ひよこ	2	1	1	2	2	2	2	2	2	0	0	0	16
合計	3	2	2	3	3	3	4	4	4	2	2	2	34

- ・民間保育所家庭支援推進保育事業費補助金 2,442,000 円（県支出金 802,000 円）
- ・地域活動事業費補助金 2,477,875 円（県支出金 1,195,000 円）
- ・子育て支援（認可外保育施設）補助金 2,000,000 円（県支出金 1,000,000 円）
- ・認可外保育施設職員健康診断料補助金 253,200 円（県支出金 182,000 円）

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	民間保育所新設数	目標	2ヶ所	実績	1ヶ所 (16年度 0ヶ所)
説明	待機児童の解消を図るとともに、延長保育、乳児保育、一時保育、特定保育等の特別保育の拡充を行うため、民間保育所（たいてい保育園）新設に対し、施設整備補助を行いました。また、民間保育所における児童及び施設の安全対策として、防犯カメラ等の防犯設備設置に対し補助を行いました。				

- 〔民間保育所整備事業費〕 173,722,000 円
- ・たいてい保育園 166,496,000 円（国庫支出金 83,248,000 円）
  - ・防犯カメラ設置（16園） 7,226,000 円

目的	子育て家庭への支援サービスの提供				
指標	民間子育て支援センター指定施設数	目標	4施設	実績	4施設 (16年度 4施設)
説明	子育て家庭の支援活動の企画、調整、実施を担当する職員を配置する民間保育所や医療機関に対して助成することにより、育児等の相談や指導など、地域の子育て家庭に対する育児支援を行いました。また、緊急保護が必要な母子については母子生活支援施設において、児童については乳児院・児童養護施設において入所措置を講じました。				

- 〔地域子育て支援センター事業費補助金〕 13,829,000 円（県支出金 6,962,000 円）
- 〔子育て支援ショートステイ事業費〕 480,800 円
- ・菜の花苑 5人
  - ・エスペランス四日市 8人
- （国庫支出金 235,000 円）  
（その他特財 86,650 円）

目的	経済的安定と自立を図るための支援				
指標	母子生活支援施設入所世帯数	目標	延べ317世帯	実績	延べ220世帯 (16年度延べ248世帯)
説明	保護を要する母子の母子生活支援施設入所等により、児童の心身の健全な発達や母子の自立を図りました。年度途中において経済的・社会的に自立し、退所したケースが増加しました。今後も、経済的基盤が弱い母子家庭には、母子生活支援施設の活用、さらに母子家庭や寡婦については、母子自立支援員及び母子福祉協力員による相談機能の強化や就労に必要な環境づくりを行い、安定した生活が確保できるよう努めます。				

- 〔母子生活支援施設事務費事業費〕 46,117,476 円
- ・菜の花苑他 4施設 延べ220世帯利用
- （国庫支出金 24,641,847 円）  
（県支出金 12,320,923 円）  
（その他特財 90,660 円）
- 〔障害児デイサービス事業費〕 458,420 円
- ・鈴鹿市療育センター

目的	家庭での生活が困難な児童（乳児を含む）の預かりと安心した生活の確保				
指標	運営協議会開催回数	目標	3回	実績	3回

				(16年度 3回)
説明	<p>「エスペランス四日市」について、移管の条件であった施設の改築を行い、個室を取り入れ、家族的な配慮ができるユニット式施設や、ショートステイ室、地域交流スペース等を兼ね備えた施設が10月に竣工しました。</p> <p>子どもの処遇向上を促進するとともに、円滑な運営を確保するため、施設等整備費および職員配置等に対する財政面での支援をはじめ、運営協議会への参加など、必要な支援を行いました。今後も、引き続き円滑な運営への支援を行います。</p>			

〔民間児童養護施設等支援事業費〕 17,094,761円

・ エスペランス四日市

**(障害福祉課)**

目的	在宅福祉サービス等の充実			
指標	短期入所利用日数	目標	1,080日	実績 1,031日 (16年度 1,107日)
説明	<p>学校の長期休暇時を中心に利用が伸びた短期入所事業(ショートステイ)のほか、新たに構造改革特区を活用して介護保険通所介護事業所(27か所)において障害児デイサービスを実施するなど、学齢期の障害児の社会参加と家族の休息を目的とした事業の充実を図りました。</p>			

〔知的障害児短期入所事業費〕 5,397,710円 (国庫支出金 3,494,000円  
利用者数 64人(聖母の家、サクラノ園ほか) (県支出金 1,747,000円)

〔障害児デイサービス(相互利用)事業費〕 693,970円 (国庫支出金 347,000円  
利用者数 小学生23人、中・高生25人 (県支出金 174,000円)

**目4 児童館費**

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,869,000円	8,207,063円		1,661,937円

目的	児童館活動などを通じた遊びの充実			
指標	児童館利用者数	目標	42,500人	実績 42,134人 (16年度 41,711人)
説明	<p>児童の健全育成の場として「あそび」を通じた児童の自主的、創造的活動の援助、指導及び社会性を養うためのグループ活動の推進を図るとともに、映画会の開催や図書の整備など優良児童文化の提供に努めました。</p> <p>「児童環境づくり基盤整備事業」国庫補助を受け、児童館において「不登校や引きこもりの児童」に対するパソコンを活用した創作活動、踊り等の自己表現活動、卓球、スケートボードなどのスポーツ活動といったプログラムを提供するなどの児童健全育成事業を行いました。また、各館ごとの児童館まつりの開催など、地域との交流にも努めました。</p>			

〔施設管理運営費〕 5,984,783円  
 〔児童館自主事業費〕 927,589円  
 〔施設整備事業費〕 287,700円  
 〔児童環境づくり基盤整備事業費〕 1,006,991円 (県支出金 1,000,000円)

児童館の利用状況

施設名	開館日数	利用者数	1日平均利用者数
北部児童館	249	13,553	54
橋北児童館	249	7,688	31
塩浜児童館	249	6,067	24
こどもの家	249	14,826	60
計		42,134	

移動児童館事業

実施回数	実施地区数	参加者数	1回平均参加者数	事前講習
19	11	2,387	126	なし

目5 知的障害児通園施設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,277,000 円	14,412,869 円		1,864,131 円

目的	障害のある乳幼児の早期療育				
指標	発達指数が伸びた児童の比率	目標	38%	実績	28% (16年度 38%)
説明	あけぼの学園(通園部 定員 50名)は、発達に遅れや障害のある児童が保護者と共に通園して保育園・幼稚園の前段階の療育を受ける場であり、児童に対して基本的な生活習慣の自立を助長・促進させ、社会適応性を向上させるとともに保護者に対する相談・援助に努めました。平成17年度は発達の横ばい(子どもの発達の一面でもある力を蓄える時期)の子どもが多く見られました。				

〔非常勤職員報酬〕 432,000 円

・嘱託医師 2人

〔あけぼの学園(通園部)管理運営費〕 13,726,509 円 ( 県支出金 8,799,000 円  
 その他特財 4,518,360 円 )

〔一般事業費〕 254,360 円

入園状況

性別	本年度末 在園児数	年 齢 別 内 訳				
		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男	39	0	7	29	3	0
女	11	0	1	7	2	1
計	50	0	8	36	5	1

目6 児童福祉施設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,081,000 円	7,327,004 円		753,996 円

目的	発達の遅れが心配な乳幼児の早期療育				
指標	デイサービスの利用率 (出席率)	目標	80%	実績	74% (16年度 74%)
説明	あけぼの学園(療育部 定員 1日 20名)は、児童デイサービス事業所として、ことば・身体運動面・生活面など、発達の遅れが心配な乳幼児を対象とした療育を行い、基本的な生活習慣の自立を助長・促進させ、社会適応性を向上させるとともに保護者に対して子どもとのかかわり方を学んでもらったり、相談・援助に努めました。乳幼児本人の病気や家族の諸事情で欠席する日もあり、出席率は昨年と同じでした。今後も、子どもの発達特性に応じた療育を行います。				

〔非常勤職員報酬〕 216,000 円

・嘱託医師 1人

〔あけぼの学園(療育部)管理運営費〕 7,111,004 円 ( 県支出金 1,989,000 円 )

入園状況

性別	本年度末 在園児数	年齢別内訳					
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男	61	4	10	31	13	2	1
女	37	4	14	15	4	0	0
計	98	8	24	46	17	2	1

項3 生活保護費

目1 生活保護総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
160,451,000 円	159,145,504 円		1,305,496 円

〔一般職給〕 20人 142,821,856 円  
 〔嘱託職給〕 1人 3,119,196 円 (国庫支出金 3,119,196 円)  
 〔非常勤職員報酬〕 1,665,600 円  
 ・嘱託医師 1人  
 〔生活保護適正実施推進事業〕 3,175,983 円 (国庫支出金 3,175,804 円)

目2 扶助費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,598,600,000 円	4,537,634,327 円		60,965,673 円

目的	適正な保護の実施				
指標	生活実態把握調査 件数	目標	11,140 件	実績	11,750 件 (16 年度 10,471 件)
説明	生活保護の適用状況は、高齢者世帯や母子世帯の増加、雇用情勢の変化などの社会的状況を反映して、開始 316 件、廃止 238 件、保護率 8.8% (前年度 8.5%)、人数は 2,655 人 (前年度 2,527 人) となり、被保護者は増加しました。 生活問題を抱える被保護世帯に対して、問題状況に応じた適切な指導・援助を行い、適正に生活保護の給付を行うためには、生活実態の的確な把握が必要なことから、自宅訪問調査をはじめとして、様々な側面からの実態調査を実施しました。調査により把握された世帯の問題については、軽減または解決のための指導・支援を行い生活の安定を図りました。 平成 17 年度は把握された諸問題のうち、就労阻害要因がない (又は乏しい) にもかかわらず就職できずにいる被生活保護者の問題に重点的に取り組みました。自立支援プログラムの一環としての就労支援を実施した結果、91 名の対象者中 32 名が新たに就労を開始しました。				

〔扶助費〕 85,179 人 4,537,634,327 円 (国庫支出金 3,344,445,490 円)  
 (県支出金 197,065,797 円)

生活保護費内訳

区分	延べ人数	支出額
生活扶助	27,553 人	1,390,546,172 円
住宅扶助	23,688 人	429,899,965 円
教育扶助	2,937 人	19,511,624 円
介護扶助	3,689 人	91,223,886 円
医療扶助	26,080 人	2,527,066,022 円
出産扶助	9 人	1,976,590 円

生業扶助	703人	10,960,538円
葬祭扶助	29人	2,750,804円
施設事務費	491人	63,698,726円
合計	85,179人	4,537,634,327円

#### 項4 災害救助費

##### 目1 災害救助費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,059,000円	3,058,597円		403円

〔災害への支援〕

- ・災害見舞金 火災（死亡5件、全焼被害21件、半焼被害15件）  
2,930,000円（その他特財 1,890,000円）
- ・災害救助基金積立金 128,597円（その他特財 128,597円）  
（昭和39年3月設置 本年度末現在高 114,857,493円）

##### 目2 災害救助基金積立準備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
152,000円	0円		152,000円

#### 項5 国民健康保険費

##### 目1 国民健康保険費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,868,100,000円	1,868,100,000円		0円

国民健康保険特別会計に対し保険基盤安定制度、財政安定化支援事業、事務費及び出産育児一時金補助金の一般財源化に基づく繰出金 1,416,799,884円を含む 1,868,100,000円の繰出を行いました。

- ・保険基盤安定繰出金 941,396,128円（国庫支出金 81,400,064円）  
（県支出金 624,647,032円）
- ・職員給与費等繰出金 304,588,756円
- ・出産育児一時金等繰出金 92,400,000円
- ・財政安定化支援事業繰出金 78,415,000円
- ・その他一般会計繰出金 451,300,116円

#### 項6 介護保険費

##### 目1 介護保険費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,989,309,000円	1,989,309,000円		0円

介護保険給付費及び事務費について、介護保険特別会計へ繰出を行いました。